

東海東京財団ニュース

2026 年 7 月 3 日

各 位

一般財団法人 東海東京財団
愛知県名古屋市中村区名駅 4－7－1

一般財団法人 東海東京財団 2026 年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016 年 8 月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2026 年 5～6 月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行いました。合計 15 件のご応募があり、厳正なる選考の結果、13 件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は 10 年目であり、累計 83 件、26,905 千円の実績となります。

2026 年度「祭礼行事伝承助成」について

1. 実施背景

2016 年 11 月、全国で 33 件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の 5 件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県県民文化局に書類提出。

申込期間：2026 年 5 月 11 日～6 月 19 日

3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2027 年 3 月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会または市町村文化財保護行政担当部局の推薦がある団体であること。
- (4) 次のいずれかに該当する場合は、対象外とします。
 - ① 過去に本財団から助成を受けている団体
 - ② 2025 年度「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体
 - ③ 2026 年度「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けることが決定している団体

4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2026年7月3日）における承認のうえ決定。

5. 助成決定件数および助成額

- ・2026年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
15 件	13 件	2, 2 1 6 千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

以 上

(別紙) 2026 年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

13件 2, 216千円 (敬称略)

番号	市町	団体名(カナ)	助成内容	助成金額 (千円)
		行 事 名	行 事 概 要	
1	常滑市	ホウジク 保示区 行事名:常滑地区祭礼 (とこなめの春祭り)	●締太鼓、小鼓の紐の修繕 100年以上前からある伝統的な山車の木彫り彫刻やからくり人形、赤幕などの飾り付けをした6台の山車が笛やお囃子、太鼓などの演奏と共に常滑市宇内を曳き回されます。勇壮な祭りで地域の活性化と共に祭礼を通して地域住民の絆が深まり地域力が向上することを目的としています。	202
2	常滑市	クメクサイレイジツコウインカイ 久米区祭礼実行委員会 行事名:久米区八幡社祭礼	●法被の新調 毎年4月に行われる久米区八幡社祭礼では、高啓回り(行列の先導・巡行役)、お囃子、常馬(神に奉納する馬)・校馬(花で飾った奉納用の馬)が区内一円を練り歩き、久米区民の安全と五穀豊穡を祈っています。	224
3	常滑市	トコナメシシゼク カグラホソノカイ 常滑市石瀬区 お神楽保存会 行事名:元旦祭、祭礼、農神祭におけるお神楽奉納	●法被の新調 石瀬区熊野神社の年間神事行事の中で、元旦祭、祭礼、農神祭において、一年の五穀豊穡と安全を祈願するため、お神楽を奉納しております。	40
4	豊橋市	ヨシダブンラクホソノカイ 吉田文案保存会 行事名:吉田文案保存会定期公演	●人形衣裳の修繕 豊橋市無形民俗文化財である鮑海人形浄瑠璃(吉田文案)の保存継承と文化財の周知を図ることを目的に、毎年1回11月に開催し、令和8年度で35回目を数える。【平成2年豊橋市無形民俗文化財指定】	165
5	美浜町	コウワダシホソノカイ 河和山車保存会 行事名:河和天神社の河和まつり	●並附締太鼓 皮、胴の磨塗装 ●長胴太鼓 両面張替、胴磨き塗装、金具交換、チャツパ修繕 町指定文化財に指定されている山車2台を河和北組および河和中組にて運営している。河和まつりでは、からくり人形の奉納やお囃子の演奏を行っている。	259
6	美浜町	コウワク 河和区 行事名:河和まつり	●山車前段簾名物布全交換 屋山・宵山の山車による運行と天神社への曳き入れ、からくりの奉納、地域住民の奉納演芸、天神社境内に露店が立ち並び祭りを盛り上げる。山車運行、奉納演芸ともお囃子が欠かせず、後世へ横笛や太鼓、拍子木など雅楽器の技術を伝承すべく、毎月の月いさみ、練習に余念がない。【美浜町指定文化財(山車)】	55
7	半田市	ナラワダイヨウ 成岩第四区 行事名:成岩神社例大祭 における山車 行列	●提灯の購入 4輦の山車(市有形民俗文化財)の引き廻しや「大獅子小獅子の舞(県無形民俗文化財)」などが行われる。北村の山車「成車」は大正13年建造、昨年100周年を迎え祝賀式典を挙行。巡行では成岩第四区役員が山車を先導し、成岩神社への打込み・下向、曳別れまで、役職を明確にし各自提灯を持ち歩いていく。	286
8	半田市	トノカイト ヤマ 殿海道山 行事名:乙川祭礼	●看枰(法被)、役提灯、高張提灯の購入 乙川祭礼は、八幡社から若宮者へ神輿渡御する祭礼である。殿海道山源氏車は神輿渡御の際に警護として曳き出される四輦の山車の内の一輦であり、半田市有形民俗文化財、無形民俗文化財に指定されている。	251
9	東海市	スワラジヤチカグラホソノカイ 諏訪神社御神楽保存会 行事名:御神楽奉納	●横笛の購入 主な行事は諏訪神社の元旦祭(正月)、例祭(9月)に御神楽を奉納している。また、底辺拡充の為、地元の横須賀小学校3年生向けに年一回の出張授業の実施、月一回の児童館での体験会を実施している。	29
10	日進市	アサダボウ ホソノカイ 浅田棒の手保存会 行事名:日進市浅田町八幡社秋の大祭 棒の手奉納	●半纏(法被)の購入 戦国期から伝わる棒の手の奉納を中心に、子供神輿や囃子踊り、バザー、もち投げなど多彩な催しで五穀豊穡と地域反映を祈る伝統行事です。	432
11	日進市	アサダカグラホソノカイ 浅田神楽保存会 行事名:浅田八幡社で行う祭り、神事	●太鼓の外装、太鼓台の修繕 浅田八幡社の祭り行事と年間5回行われる神事に神楽を奉納する。地区の神楽文化の保存と地区住民の融和に努めている。神楽技術の向上を図る為、年間に約20回の練習を行っている。	40
12	日進市	イワサキハヤシダ イホホソノカイ 岩崎囃子太鼓保存会 行事名:岩崎観音様祭礼〔旧呼称・清水観音〕	●太鼓の革張替え 本行事は清水観音(慈眼寺)に対する供養行事であり、地域の安泰を祈願するものです。旧暦7月17日の夏祭りn合わせ、青年層を中心に伝統の打囃子(太鼓・笛)を奉納し、地域の歴史と活気を継承しています。	44
13	長久手市	ヤザコ ホソノカイ 岩作オマント保存会 行事名:岩作のオマント	●征矢、のぼりの製作材料費 『オマント(馬の塔)』は「警固祭り」とも呼ばれ、御幣、けずりかけ、征矢で組んだ標具(ダシ)を乗せた馬を、鉄砲隊や棒隊を組んで警固し、神社仏閣に奉納して五穀豊穡を祈願する400年以上続く伝統行事。【1985年愛知県無形民族文化財指定】	189

以上